

ガレキ・伐採木の管理状況(2015.7.31時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量※1	前回報告比※2 (2015.6.30)	変動※3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
ガレキ 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	C	屋外集積	0.01未満	55,200 m ³	+700 m ³	①②③	97%	101000 / 168100 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、工事で発生した廃材。 エリアP1造成完了、運用準備開始(2014年10月24日) 瓦礫受入開始(2015年1月19日) エリアN瓦礫受入開始(2015年4月16日) 	
	F	屋外集積	0.01	5,700 m ³	+800 m ³	④	76%			
	J	屋外集積	0.02	300 m ³	-3,000 m ³	⑤	5%			
	N	屋外集積	0.01	300 m ³	+100 m ³	⑥	3%			
	O	屋外集積	0.02	26,200 m ³	0 m ³	—	95%			
	P	屋外集積	0.01未満	12,600 m ³	0 m ³	—	21%			
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%			
ガレキ シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	30600 / 48300 (63%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。 エリアP2造成完了、運用準備開始(2014年10月24日) 	
	E	シート養生	0.06	7,000 m ³	微増 m ³	—	44%			
	P	シート養生	0.01未満	0 m ³	0 m ³	—	0%			
	W	シート養生	0.03	21,000 m ³	0 m ³	—	72%			
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	11,400 m ³	+2,700 m ³	⑦	95%	18000 / 27700 (65%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3,4槽設置(8,000m³)の安全協定に基づく事前了解(2014年8月12日)。 エリアE2造成完了、運用準備開始(2014年10月24日) 保管容器※4受入開始(2014年12月9日) 覆土式一時保管施設3槽受入開始(2015年6月23日) 	
	A	仮設保管設備	0.35	100 m ³	-2,700 m ³	⑧	2%			
	E	容器	0.01未満	200 m ³	+100 m ³	①	14%			
	F	容器	0.01	600 m ³	0 m ³	—	99%			
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器	0.03	5,700 m ³	+100 m ³	⑨	48%	5700 / 12000 (48%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了解(2014年8月12日)。 第9棟設置に伴う実施計画変更認可(2015年7月17日) 	
	合計(ガレキ)				155,300 m ³	-1,300 m ³	—	61%		
	伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01	15,600 m ³	+400 m ³	①	88%	64600 / 79200 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> 主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 その他工事で発生した幹・根を随時受入中。
		I	屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%		
M		屋外集積	0.01	38,500 m ³	+100 m ³	①	85%			
一時保管槽 (枝・葉)		V	屋外集積	-	0 m ³	0 m ³	—	0%		
		G	伐採木一時保管槽	0.01未満	7,300 m ³	0 m ³	—	27%	18400 / 50100 (37%)	
T	伐採木一時保管槽	0.01	11,100 m ³	0 m ³	—	48%				
合計(伐採木)				83,000 m ³	+500 m ³	—	64%			



※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由：①フェーシング工事 ②タンク設置関連工事 ③焼却対象物の集約作業 ④焼却対象物の受入 ⑤エリア整理のため一時保管エリアCへ移動 ⑥タンク漏えい対策工事
 ⑦仮設保管設備からの受入 ⑧覆土式一時保管施設(3槽)への搬入 ⑨3号建屋瓦礫撤去関連工事 等
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2015.8.20時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2015.7.23)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	638 本	0 本	2718 / 6055 (45%)	<ul style="list-style-type: none"> 多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設(第三施設)全容量(容量3,456本)の使用前検査終了(2015年4月13日、1,536本増) 使用済吸着塔一時保管施設(第一施設)の吸着塔保管ラック復旧(50本増) 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	144 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,036 基			+3 基
			増設	666 基			+24 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	61 本			+4 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	7 塔			+2 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		166 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,249 m ³	-11 m ³	9249 / 20000 (46%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) 	



ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液の保管量推移

